

山村振興対策事業

農業生産活動等の維持を図りながら、農山村の活性化を図るため、歴史、伝統文化、自然環境等の地域の特色を活かした生産施設や交流施設等の整備を支援します。



『吊り橋』（那須塩原市板室地区）

那珂川支流の木の俣川に「巨岩吊橋」を整備し、7月13日にオープン記念式典が行われました。橋は板室温泉の入り口にあり、両岸には、交流広場や遊歩道も併せて整備されました。清流と豊かな緑の景観を楽しめることが期待されています。



『加工所』（茂木町須藤地区・林地区）

須藤地区的『もてぎ手づくり工房』では、ユズを中心とした地元特産品を使ったソース、ジャムなどの商品開発を行い、林地区の『林農産加工所』では、地元産の野菜を使ったギョウザ、惣菜などを創作することで、加工品のブランド化を展開し、地域農業の活性化や雇用創出を進めています。また、「道の駅もてぎ」などで加工品を販売することで都市住民との交流拡大につなげるとともに、生産から加工、販売までを町内で行う6次産業化の拠点施設として、地域活性化の起爆剤となることが期待されています。



とちぎの棚田 21

県内には古くから伝わっている棚田がたくさんあります。食料生産の場であるとともに、貴重な地域資源の一つであり、癒しや安らぎを与えてくれるなどの大切な役割をもつ棚田は、地域の人達の多くの努力によって守られてきました。ふるさとの原風景として都市住民のみなさんからも親しまれる棚田をこれからも守っていくた

めには、広く県民の皆様に棚田を理解していたことが重要です。このため、県では、21世紀に残すべき優良な棚田として「残したい朽木の棚田21」を認定しています。棚田は、見る季節、時間、天候等によって、様々な表情を見させてくれます。私たちに新たな発見をさせてくれます。この機会に、あなたのお気に入りの棚田を見つけてみてはいかがでしょうか。

HP : http://www.tochinokijp/pref/kikin/tanada_pr.html